

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

ハ

男子 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
不来方高等学校	32	13	17	浦添高等学校
		19	13	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

抱負通り初戦を圧倒的な強さで突破した不来方と地元優勝校の神戸星城を撃破した浦添の対戦となった3回戦。幸先良く浦添20番伊波が2点を連取してスタートをした。対する不来方も浦添の2枚の警告を機に同点に追いつき、その後しばらくは互いにシュートミスや浦添20番伊波、不来方キャプテン吉田を中心としたOFなどで一進一退の攻防が続いた。中盤になると、互いの堅守により均衡した。すると、不来方の退場を機に浦添はさらに得点源であったキャプテン吉田にマンツーマンDFを仕掛けて点差を広げにかかったが、同点止まりとなった。終盤23分過ぎには不来方が2者退場を出し、浦添は再度マンツーマンDFを仕掛けて3連続得点でリードができ前半を終了した。後半開始後、不来方がポスト、ミドルシュートを連続で決め、点差を縮めにかかったが、すぐさま浦添5番東江が2連続シュートで取り換えした。しかし、不来方は自慢のスピードで徐々に点差を詰めていき、9分過ぎには同点、10分過ぎには浦添が2者連続退場を機に遂に勝ち越しに成功した。中盤以降は浦添も食い下がるが不来方がリードを守り切り、そのまま逃げ切り、熱戦を終えた。

2017年 3月 26日

記載者氏名 藤岡 秀行

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

二

男子 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
岩国商業高等学校	23	[	9 — 12 14 — 17 — — — 7mTC	明光学園高等学校
		]	29	

選抜大会3回戦、第2試合は3年ぶり14回目の出場の県立岩国商業と3年連続3回目の出場の明光学園の一戦。黄色のユニフォーム岩国商のスローオフで試合開始。いきなり明光7番が2点を先取。岩国商もシュートは打つものの、なかなか得点に結びつかない。試合開始10分、6対2で明光がリード。岩国商は明光のマークの厳しいDFに苦慮しながらも、速攻を中心に選手全員で反撃する。一方、明光は力強く、ミスの少ないプレーで着実に得点を重ねていく。しかし、タイムアウト以降、明光がやや攻めあぐんでいる間に右からの攻めや7TCなどで岩国商が徐々に明光に迫っていく。前半を12対9、明光リードで折り返す。後半は開始から点の取り合いとなる。明光が速攻で2得点すると岩国商もカットインで応戦する。開始5分で明光6番、9番の2人が連続退場。岩国商のパワープレーと思われたが、岩国商にも退場者が出て状況が一進一退となる。先に体勢を立て直したのは明光。逆に岩国商はパワープレーが生かせなかったが、足を止めずに何とか食らいついていく。明光9番の4連続得点などに対し、闘志溢れるプレーで応戦した岩国商だったが、最後は明光がリードを守りきった。

2017年 3月 26日

記載者氏名 上畑 正樹

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男子

男子 ・ 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

チーム名	総得点		総得点	チーム名
学法石川高校	28	[ 12 - 19 ]	34	法政大第二高校
		[ 16 - 15 ]		
		[ - ]		
		[ - ]		
		[ - ]		
		7mTC		

昨日、勝ち上がった学法石川と法政二高との3回戦は、学法石川のスローオフで開始。

先制したのは、開始2分、学法石川10番濱津のセットからのミドルシュート。立ち上がりは、石川

ペースかと思われたが、法政も両サイドのシュートなどで応戦、12分には8-6と法政リード。

その後、速攻を基本とした似たような試合運びで攻めあうも、石川は法政の2-4の高いDFに阻まれ、

得点がのびない。一方、法政はミスしながらも速攻やサイド、ポストからのシュートが決まり、

19-12と法政の7点リードで前半が終了した。

後半早々、法政14番西、10番白築の連続得点。一方、石川も相手のミスをついた逆速攻で

2点を取り返す。中盤まで一進一退の攻防が続き、16分には27-20と法政の7点リードは変わ

らない。20分過ぎには、法政8番加藤の右45からのステップシュートや4番福田のポストシュート

などで、点差を広げるが、石川も粘り強く攻撃を続け、25分には32-25と7点差まで戻す。

後半、石川は互角以上に戦ったが、前半の得点差を取り返すことはできなかった。

29年 3月 26日

記載者氏名 小川 健三

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男へ

男子 ・ 女子 3回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

チーム名	総得点	[	13	—	17	]	総得点	チーム名	
桃山学院	<u>28</u>	[	15	—	13	]	<u>30</u>	横浜創学館	
			—		—				
			—		—				
			—		—				
			7mTC						

初戦を組織的な1-2-3DFで快勝した桃山学院と、ここまで41得点、39得点と圧倒的な攻撃力で勝ち上がってきた横浜創学館の注目の一戦。横浜創学館はスローオフ直後、3番中村のミドルで鮮やかに先制するも、桃山学院も4番村上のリスタートからの素早い速攻ですぐさま取り返す。序盤は互いにシュートチャンスを作るも両校GKの好守が光る引き締まった展開。桃山学院は4番村上らで加点していくが、中盤横浜創学館は4番輪島の強烈なステップシュート、2番中田のスピーディな速攻で連続得点。さらに3番中村の4連打、GK中田の好守で流れを掴みリードを広げる。桃山学院は15番鍋谷のポストシュートで追撃するも、前半は横浜創学館の4点リードで折り返す。後半序盤、互いに退場者を出すものの両者譲らず均衡した展開。桃山学院は退場者のいる苦しい時間を耐え抜き、13番占部、7番佐藤らの得点で1点差にまで詰め寄る。GK平の再三の好セーブもあり、約10分間得点を許さないが、対する横浜創学館GK中田もスーパーセーブ3連発で辛くもリードを保ち続ける。GKの好守に鼓舞されるかのように、4番輪島、6番市原らの得点で再びリードを広げる横浜創学館。終盤に広げたリードを守りぬいた横浜創学館がベスト8へと駒を進めた。GKの好守が光る、引き締まった好ゲームであった。

29年 3月 26日

記載者氏名 山本 紘輝